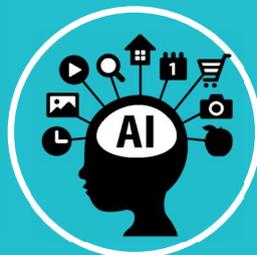




<https://www.fujifilm.com/jp/ja/business/inspection/infra-service/hibimikke> より引用

ひびみっけとは、橋梁・トンネルなどのコンクリート構造物の社会インフラ点検を効率化する新技術です。

コンクリート構造物のひびわれをAIで自動検出し、ひびわれ点検業務を効率化、コスト削減することが可能です



AI自動化



効率化



コスト削減

## 01 撮影

コンクリートを撮影する

### ひびわれを検出する方法

- 三脚にカメラを固定して撮影する。ドローンでも可能

### チョークを検出する方法

- 手持ちカメラにて撮影する。



## 02 解析

ソフトウェアにて解析

### 解析の方法

- 撮影データを取り込み、合成したい部材を専用のソフトウェアにアップロードする



## 03 評価

結果の確認と評価

### 結果の確認と編集

- 画像の合成と損傷の検出が完了後にダウンロードする

### 損傷画像・CAD図の作成

- 損傷が入った合成画像ならびにCADデータとしても運用可能ある



## 技術の応用活用について

- 解析したデータを1×1mのメッシュに分割して、それぞれのメッシュ毎でひび割れ総延長を算出(ひび割れ幅は、現時点で考慮しない)
- 各メッシュのひび割れ密度で5段階に区分し、コンタ図を作成

ひび幅	ひび長さ
0.10 mm未満	60.57m
0.10 ~ 0.20 mm未満	49.51m
0.20 ~ 0.30 mm未満	2.61m
0.30 ~ 0.40 mm未満	1.31m
0.40mm以上	0.83m

ひびわれ延長(mm/m <sup>2</sup> )
0~1000
1001~2000
2001~3000
3001~4000
4001~5000

